

山梨北中ブロック交流研究会

テーマ 「小中の連携を深め、山梨北ブロックの児童・生徒の指導に生かす」

I 主題設定の理由

山梨北中ブロックの児童・生徒を健全に育てるためには、普段交流の機会の少ない小・中の教職員が一堂に会し、話し合いや活動の場を持ち、教育上の課題を見つけ、より良い解決の方法を探り、連携を深めることが必要だと考える。

本ブロックでは、同じ地域で学ぶ子どもたちをともに教育するという立場から、教師自身が地域に対して共通理解を深めることが必要だと考えて、臨地研修をおこなってきている。本年度も、地域の自然・文化・歴史についての見識を深め、学習活動に活かすため、講師を招いて、地域素材に関する臨地研修を継続して実施したい。また、小学校・中学校の交流授業を行うことで、交流研究の成果を指導に活かしていきたいと考え、テーマ「小中の連携を深め、山梨北ブロックの児童・生徒の指導に生かす」を設定した。

II 研究の具体的内容

1 第1回交流研究会(臨地研修)

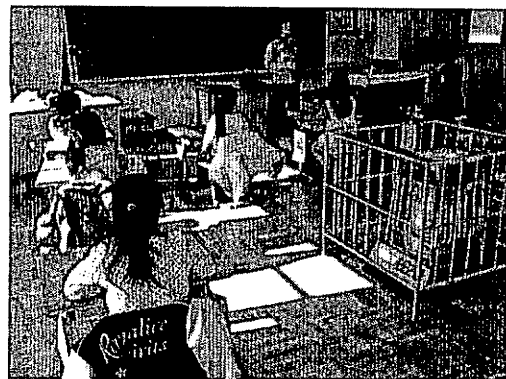
- (1) 目的 同じ地域に学ぶ児童・生徒を教育する立場で、山梨市内の自然、文化財などを見学して、地域素材についての知識・理解を共有し、児童・生徒の学習に役立てる
- (2) 日時 平成21年8月7日(金) 13:30～
- (3) 方法 各小学校区に4つのコースを設定し、見学する。
- (4) 内容
 - ① 岩手小学校区コース
大石神社
「大石神社と奇岩群および岩手地域の地形について」
講師 佐藤 裕彦さん (元山梨市文化財審議員)
 - ② 八幡小学校区コース
友沢・水口公会堂
「友沢の奇岩と水口公会堂の観音像にまつわる伝承について」
講師 松土金護さん (山梨市グリーンツーリズム推進協議会会長)
 - ③ 日下部小学校区コース
日下部公民館・飯島家住宅・亀甲橋・法蔵寺
「日下部遺跡と明治時代に峡東地区の中心地として栄えた小原通りについて」
講師 竹川久雄さん (日下部公民館長)
 - ④ 後屋敷小学校区コース
国宝 清白寺
「国宝の建物の解説や座禅体験」
講師 本間愛敬さん

2 第2回交流研究会(中学校交流授業)

- (1) 目的 中学校の授業参観を通し,児童生徒の実態や学習活動について知り,系統的な教育のあり方を考える。
- (2) 日時 平成21年11月4日(水) 13:45～
- (3) 場所 山梨北中学校
- (4) 内容 山梨北中学校の授業の様子や部活動の様子を見学する。
13:45～ 授業参観(各教室)
15:30～ 部活動参観(各活動場所)

3 第3回交流研究会(小学校交流授業)

- (1) 目的 小学校の授業参観を通し,児童生徒の実態や学習活動について知り,系統的な教育のあり方を考える。
- (2) 日時 平成22年1月13日(水) 14:00～
- (3) 場所 日下部小学校・岩手小学校
- (4) 内容 日下部小学校・岩手小学校の授業の様子を見学し,意見や情報交換をする。
14:00～ 授業参観(各教室)
15:05～ 話し合い



岩手小学校交流授業の様子

Ⅲ 成果と課題

1 成果

- ①臨地研修 山梨北中ブロックで臨地研修会をおこなうようになって3年目になる。3年を1サイクルと考え、みんなが各3コースを回って研修をできるように計画をしてきた。開始当初,3年間は研修のコースを固定しておこなう予定だったが,しだいにコースが増えたり,内容の見直しがあったりして,研修内容の充実が見られた点は良かったと思う。また,参加者からも,地域の歴史にふれられる点や貴重な体験ができた点を評価する声が多かった。
- ②小学校・中学校の交流授業 交流授業には多くの参加者があり,指導の様子や卒業生の学習の様子を興味深く参観していた。また,授業内容もよく考えられており,すばらしい授業が多かった。授業後には,話し合いを持ち,中学校の様子や小学校での指導法など情報交換や意見交換をおこなうことができた。

2 課題

臨地研修も1サイクルを終わり,来年度からは新たな研修コースを考える必要がある。研究主任だけでなく地域に詳しい方々の意見を聞きながら,新たなコースを考えていきたい。また,研修に際してお願いしていた講師も新たに探す必要もあるかもしれない。今まで講師の評判が良かっただけにこの点も重要な要素であろう。

交流授業については,今後も続けていきたいが,本年度のように新型インフルエンザの流行があった場合の対処方法を考えていかなければならない。幸い本年度は2つの交流授業を予定通り実施できたが,今後は,中止を含めてすばやい判断が要求される。
(ブロック長 武井茂)